

VI 標準化会議の事業報告

1. 概要

標準化会議は、会員ニーズに基づく積極的な規格原案作成活動を進めた。国内標準化活動では、JIS 2規格の改正作業を行う予定である。JSMA規格も制定・改正作業を進め2規格が発行できた。国際標準化活動では11月に第15回ISO/TC227ばね国際会議を名古屋にて開催した。Pメンバー11か国中、9か国31名が参加した。ドイツ提案の「圧縮コイルばね試験法」はDIS段階に進む事が決定された。またイタリア提案の「引張コイルばね試験法」が新プロジェクトとしてスタートし、NP投票のコメントについて審議を行った。

2. 標準化会議の開催

会議	名称、日時	主な議案
第1回 標準化会議	2019年6月25日 機械振興会館	1. 国内各規格開発(JIS、JASO及びJSMA)活動内容審議 2. ISO/TC227ばね活動報告及び審議
第2回 標準化会議	2019年10月28日 機械振興会館	1. 国内各規格開発(JIS、JASO及びJSMA)活動内容審議 2. ISO/TC227ばね活動報告及び審議
第3回 標準化会議	2020年2月5日 機械振興会館	1. 国内各規格開発(JIS、JASO及びJSMA)活動内容審議 2. ISO/TC227ばね活動報告及び審議 3. 今年度活動の総括と来年度活動計画審議

3. 活動の詳細

(1) 国内規格関係

① JIS 規格関係

4部編成からなるJIS B 2710の規格群の内、JIS B 2710-1「重ね板ばね第1部:用語」及びJIS B 2710-2「重ね板ばね第2部:設計方法」の改正原案を2019年10月4日に日本規格協会に提出し、現在は審査待ちである。残りのJIS B 2710-3「重ね板ばね第3部:試験方法」及びJIS B 2710-4「重ね板ばね第4部:製品仕様」については、2020年度区分Aにて応募し、2020年4月から11月にかけて改正作業を行う予定である。

また、一般社団法人日本試験機工業会からの要請により、ばね工業会から委員4名が参画し、JIS B 7738「引張試験機・圧縮試験機-力計測系の校正方法及び検証方法」の改正作業が行われた。

② JASO 規格関係

自動車技術会規格委員会要素部会の活動に参加した。本年度定期見直し対象11規格の内、ばね工業会に関係する2規格、F203「自動車部品-スナップピン」及びF302「自動車部品-波形ばね座金」は、「確認」で維持継続となった。

③ JSMA 規格関係

今年度は以下に示す3規格の制定・改正原案作成作業を進めた。5月にSC006「波形ばね座金」及びSC007「薄板ばねの硬さ試験-試験方法」の2規格を改正発行した。またTRZ001「規格票用の図・グラフ作成方法」については12月に改正した。

(2) ISO 規格関係

① 第15回名古屋国際会議

日本からは相羽委員会マネージャーら5人の会議派遣者と日本ばね工業会関係者の15人が出席した。11月14日、15日の2日間開催され、1日目はワーキンググループ2及び3会議、2日目は本会議が行われた。

ドイツ提案の「圧縮コイルばね試験法」は、2回目のCD投票のコメントについて審議され、DIS段階に進むためのドラフトを委員に送ること議決した。イタリア提案の「引張コイルばね試験法」は、NP投票の際に提出されたフランス、中国及び日本からのコメントについて審議され、アップデートしたドラフトを2020年3月15日(日)までに回付することを議決した。

次回の第16回国際会議は、9月にイタリアのミラノで実施することを議決した。

この活動には、政府制度の国際標準開発事業のツールを活用し、経済産業省、株式会社三菱総合研究所の支援を頂きながら実施した。